



2023-2024年度 2023年11月29日(水) 【17回】  
**WEEKLY NEWS** 通算 2478回



国際ロータリー第2640地区

# 和歌山東南ロータリークラブ【週報】

会長:塩崎和仁 幹事:坂本武司 会報委員長:小林一三

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-serc.org http://wakayama-serc.org/

例会日 水曜日 例会場:村アパローム紀の国 第1,第2,18:30~(夜) 第3,第4,第5,12:30~(昼)

先週例会報告 会場監督 中岡隆文

ゲスト:うつほの杜学園設立準備会 代表理事 仙石恭子様

## 《 会長挨拶 》 塩崎和仁会長

- ① 本日は、うつほの杜学園 仙石恭子様のご外部卓話です。東京から来られたそうです。後ほど宜しくお願い致します。
- ② 12月2日(土)和歌山市軟式野球連盟学童部東支部 納会に坂本幹事と一緒に参加します。  
虎伏学園『クリスマスツリー点灯式』に土屋委員長、出席をお願いします。
- ③ 「クリスマス親睦家族例会」12月23日(土)皆様、出席をお願いします。
- ④ 先週の週末に家族で沖縄に行ってきました。  
暖かくて、半袖シャツで観光出来ました。もし良かったら一度行ってみてください。



## 《 幹事報告 》 坂本武司幹事

- ① 和歌山南 RC より「ドライブレコーダー取り付けキャンペーンとステッカーの配布について」の協力のお願いが届いております。皆様のラックに「見守りステッカー(マグネット・シール)1枚、啓発チラシ」を入れておりますので、お持ち帰りください。
- ② 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いてあります。  
ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。  
・地区大会お礼状  
・和歌山市内9RC奉仕事業日程表。各RCが行ってます奉仕事業が掲載されてます。ご参考までにご一読ください。
- ③ 虎伏学園クリスマスツリー点灯式が12月2日(土)16:40~開催されます。土屋青少年奉仕委員長 島本青少年奉仕副委員長にご参加いただきます。ご祝儀10,000円を青少年奉仕委員会(奉仕会計・ココBOX)より持参頂きます。
- ④ 和歌山市軟式野球連盟学童部 東支部納会(令和5年度)が12月2日(土)18:30~、ダイワロイネットホテル和歌山で開催されます。塩崎会長、幹事の私で参加いたします。ご祝儀20,000円を青少年奉仕委員会(奉仕会計・ココBOX)より持参いたします。



本日の出席報告									
会員総数	39名	出席者	21名	出席率	55.26%	寄付金	累計	ニコニコ	1,122,789
米山記念奨学会	151,000	ロータリー財団	196,000	東南育英会	0				
出席免除会員	2名	11/29	21名	55.26%	累計	1,122,789	151,000	196,000	0

《 ニコニコ箱報告 》 中曾真二郎会計

塩崎君：ピアノコロッソ 仙石恭子様、本日は宜しくお願ひします。  
坂本君：寒くなってきましたので、体調に気をつけて下さい。  
溝落君：風邪が流行していますので、お身体を大切にしてください。  
中曾君：土屋さん先日はありがとうございました。  
社会奉仕委員会：さつま芋堀 お疲れ様でした。



《 米山記念奨学会 》

松田君：欠席続きですみません。

「ロータリー財団のクラブ表彰」国際ロータリーのロータリー財団  
\*2022-23 年度 100 パーセントロータリー財団寄付クラブ  
\*2022-23 年度 EREY (Every Rotarian Every Year) クラブ



ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「地区大会記念ゴルフ大会」  
2023年10月17日(火)  
関西空港ゴルフ倶楽部  
95位飛賞 松田敏明会員



♪ ソング斉唱 ♪ 「花になろう鳥になろう」 土屋クラブ奉仕副委員長



## 外部卓話 「和歌山を変える学校づくり」

うつほの杜学園設立準備会 代表理事 仙石恭子様



熊野古道を世界とつなげる学びの聖地へ。のスローガンの元、2025年4月開校目標に探究型グローバル小・中一貫校の設立を目標に活動をするうつほの杜学園設立準備会の学校構想と、構想から3年少しの間学校の活動軌跡をご紹介します。

「なぜ学校を？」発起人仙石恭子が和歌山から大学で上京し、教科横断の学習者が中心の探究型教育を大学で初めて受けた時の衝撃と、都市と地方の教育格差の強い実体験を感じた事、そして20年以上関わり続けるイタリア訪問の中で和歌山への地元愛と和歌山創生への貢献意欲、これらが今東京から和歌山へ家族と小さい息子を連れて帰る際に親の当事者として「グローバル教育が和歌山にない！」と感じた所から3年前にスタートしました。

うつほの杜学園設立準備会は「グローバル社会で幸せに生きる力をすべての子どもたちへ」をスローガンの元、「自らの力で未来を拓くグローバルリーダー」育成を掲げ和歌山で初となる、日本語と英語のバイリンガルで教育を行い、また現在世界で高い評価を受ける「IB国際バカロレア」の和歌山初の認可校としての小・中一貫校の設立を目指しています。

設置予定地である田辺市中辺路町旧二川小学校の近隣住民、田辺市、そして当社団の間では既に3者協定を取り交わしており、設立準備会、親御さん、教育者、行政、政治家、企業、など多様な立場の人々が一丸となって「うつほの杜学園」の設置に向けて取り組んでおり、和歌山のムーブメントとなっています。こうした通常の学校新設の枠組みを超えた体制で進んでいる「うつほの杜学園」の新たな設置は、和歌山の教育に一石を投じるのみならず、和歌山の地図の真ん中に立地し、世界遺産熊野古道の地でもあり世界と繋がる田辺市中辺路から和歌山全体の活性化にも繋がりをうるプロジェクトであります。しかしながら開校に向けてまだまだ賛同者が必要であり、国際的な社会奉仕団体であるロータリークラブの皆さまには、是非ともムーブメントにご賛同頂きたく思っておる次第です。

仙石恭子 一般社団うつほの杜学園設立準備会 代表理事／株式会社仙石プロフィール：

IB国際バカロレア教員資格 和歌山市出身。慶應義塾大学環境情報学部在学中に建築を学びにイタリア留学でフィレンツェへ。卒業後株式会社IDEEを経てイタリアのプレス会社Tanja Solci Studioで2年半ミラノで過ごす。帰国後家業の新規事業で始まったワイン輸入業を始め、2007年よりBIANCOROSSOをスタート。2016年に東京で2店舗目を出店。ソムリエ、一児の母

《うつほの杜学園構想の概要》

- 定員：一学年25名（小学校150名 中学校75名）
- 立地：和歌山県田辺市中辺路 旧二川小学校
- カリキュラム：探究型グローバル教育（IB国際バカロレア認定校を目標）
- 学費：80-120万円（年間）＋設備維持費＋教材費
- 開校目標：2025年4月





「ブラジルのロータリークラブが全国的なポリオ予防接種キャンペーンを展開 ～新型コロナウイルスでの経験をヒントに国内のポリオ予防接種を推進～」

MY ROTARY ニュース・特集記事「記事」

21-Nov-2023 文: Etelka Lehoczky

新型コロナウイルスのパンデミックがもたらしたのは、悪いことばかりではありません。ブラジルでは、ポリオ予防接種を呼びかける新たなキャンペーンの誕生につながりました。

パンデミックの中、ブラジルでは全国でワクチンへの懐疑が広がりました。「ワクチンは安全」というメッセージを広げる必要があると考えたブラジルのロータリー会員、アントニオ・エンリケ・バルボサ・デ・バスコンセロスさん（フォルタレザ-アラガジソ・ロータリークラブ所属、現国際ロータリー理事）は、証拠に基づく情報発信キャンペーンを提案。こうして、世界保健機関（WHO）や汎米保健機構から

「ともにポリオと闘おう」キャンペーン広告のひとつ。

の事実や統計を人びとに伝える「情報は命を救う」キャンペーンが立ち上げられました。このキャンペーンには大きな反響がありました。バスコンセロスさんはこう振り返ります。「キャンペーン開始イベントでは、収容人数 500 人の会場が数分で埋まってしまいました」バスコンセロスさんのチームは、キャンペーン用の雑誌広告、看板、バスの窓やバス停に貼るステッカー、ラジオ広告、ウェブサイト、ソーシャルメディア用グラフィックなど、各種メディアで使える広告をデザインし、国内のクラブに配布。多くのクラブは、これらの広告を地元で出すために、募金活動やパートナー団体を通じて広告料を捻出しました。

バスコンセロスさんと仲間たちはその後、ポリオ予防接種にも同じアプローチが取れることに気づきました。ブラジルでポリオ症例が最後に記録されたのは 1989 年ですが、接種率の低下によりポリオ再発の危険性が高まっています。同国保健省によると、2022 年の国内の 5 歳未満の予防接種率はわずか 72%。このため政府は、5 歳未満の子どもの接種率を 90%~95%にすることを目標に掲げています。

バスコンセロスさんは、ロータリー公共イメージコーディネーター、ポリオ担当部スタッフ、ローターアクトとインターアクトの会員、『Rotary Brasil』誌のスタッフから成るチームを編成して、ポリオに関する新しいメッセージを作成しました。「ともにポリオと闘おう」と銘打つこのキャンペーンでは、新型コロナのキャンペーンで使った広告に加え、風船と T シャツに使うデザインも作成し、キャンペーンのウェブサイトとソーシャルメディア用グラフィックを駆使してオンラインでもメッセージを広げています。

キャンペーンでは、意図的にカラフルなデザインを用いて楽しそうなイメージを出しています。

「ポリオ予防接種を受ける子どもを増やすと同時に、さまざまな人が結束する“多様性”を示したいと考えました」と話すのは、ロータリー公共イメージコーディネーターであるカルロス・ダニエル・フェルナンデスさん（リベイラン・プレト-ウレスティ・ロータリークラブ会員）です。「悲しいイメージではなく、楽しそうなイメージで人びとの注目を引くことにしました」

「ともにポリオと闘おう」キャンペーンの 9 月の開始イベントには、対面式で 2,000 人近く、オンラインで 800 人以上が参加。「情報は命を救う」キャンペーンを上回る反響がありました。「毎日のように、全国からイベントを紹介した多くの記事や写真が送られてきます」とバスコンセロスさん。

「情報は命を救う」キャンペーンと同じく、「ともにポリオと闘おう」キャンペーンでも、多くのロータリークラブが地元のパートナーシップを通じて資金を集め、無料で広告を出すことに成功しています。「市内のクラブは、2,000 枚のポスターを病院や学校、保健センター、バスなどに無料で掲示しました」とバスコンセロスさんは言います。

国際ロータリーブラジル事務局のアウレア・ドス・サントスによると、キャンペーン用広告は「クラブがウェブサイトからダウンロードして、手を加えずにそのまま使える」ものです。

世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）の創立メンバーであるロータリーは、1988 年の GPEI 創設以来、世界のポリオの症例を 99.9%減らす合同の取り組みに参加してきました。ロータリーとパートナー団体は、これまでに 122 カ国で 30 億人以上の子どもにポリオの予防接種を提供しています。

2023 年 11 月